

## 城下町の面影を探して

江戸時代には城下町として栄えていた川越。城下町の面影を残す建物として三久保町に市指定史跡・永島家住宅(旧武家屋敷)があります。

永島家住宅は、江戸時代後期の中級武士の屋敷で、川越城南大手門近くの武家地の一角にあります。一般に武士の家は、藩から拝領されるもので家賃のいらない借家であり、規模や部屋数、門の大きさなどは身分や禄高くわこうごとに決められていました。間取りは、それぞれの家で微妙に違っていたようです。屋敷は、最近まで増改築を続けていたため建築当初の間取りとはだいぶ変わっていますが、武家屋敷としては、県内で唯一といえます。



庭園の公開風景

また、周辺にも通称「七曲り」と呼ばれる、幾重にも折れ曲がっている道があるなど、城下町の面影を感じることができま。永島家住宅の庭園は毎月第3土曜日に一般公開しています。当時の面影を探しに、訪ねてみてはいかがでしょうか。  
\* 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



白い星型のピーマンの花

独特の香りと苦みで子どもたちの苦手な野菜の代表格・ピーマン。露地ものだと6~9月が収穫時期で、緑・黄・赤など鮮やかな色合いが食卓を彩ります。ビタミンCを含む野菜は多くありますが、熱に弱いので加熱すると壊れてしまいます。ところが、ピーマンは、果肉が厚いため、加熱してもビタミンCが壊れにくいのが特徴です。

良品の見分け方は、色が濃く、肉厚のもの。「ヘタが六角形のもの」は栄養たっぷりです。苦みも少ない

## ピーマン

んですよ」と市内でピーマンを栽培している新井康弘あらいやすひろさん(下赤坂)。生鮮野菜の中では比較的日持ちしますが、切り口から痛むため、1個を使い切ることがポイントです。

市内で取れた旬のピーマンをさまざまな料理法でおいしく食べて、暑い夏を乗り切りましょう。



六角形のヘタ



収穫したものは農産物直売所「福菜」(上松原)に出荷します

サイ。公園や庭先で開花しているのに誘われ、カメラを持って探索に出かけました。青・紫・ピンク・白と色とりどりに花開いている様子に、目移りしている。ふと甘い香り。どこから香ってくるのかと、顔を上げるとクちなシの花がアジサイに寄り添うように咲いていました。初夏の情緒あふれるひとコマに、思わずパチリとシャッターを切りました。



## 梅

雨の季節に、しっとりとした風情で咲くアジサイ。公園や庭先で開花しているのに誘われ、カメラを持って探索に出かけました。青・紫・ピンク・白と色とりどりに花開いている様子に、目移りしている。ふと甘い香り。どこから香ってくるのかと、顔を上げるとクちなシの花がアジサイに寄り添うように咲いていました。初夏の情緒あふれるひとコマに、思わずパチリとシャッターを切りました。



川越八幡宮(南通町)で咲くアジサイとクちなシの花

編集後記

どんぐり